

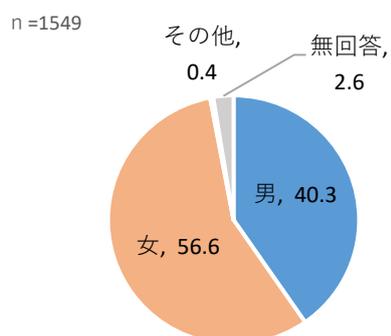
## 館山市 市民意識調査結果について

## 1 調査概要

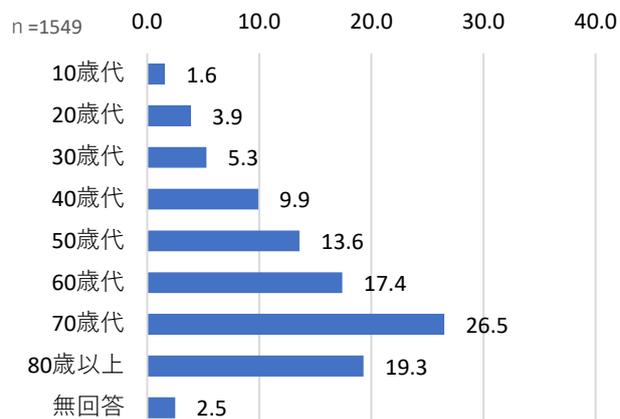
調査対象	16歳以上の市民 4,000人（無作為抽出）
調査方法	配付方法：自宅への調査票郵送 回答方法：WEB回答もしくは郵送提出（いずれか1つを選択）
調査時期	令和6年8月28日（水）～9月20日（金）
回答数	1,549人（回答率38.7%） ※内訳 WEB回答：273人、郵送回答：1,276人

## 2 回答者の属性

## ●性別



## ●年代



## ●居住地区

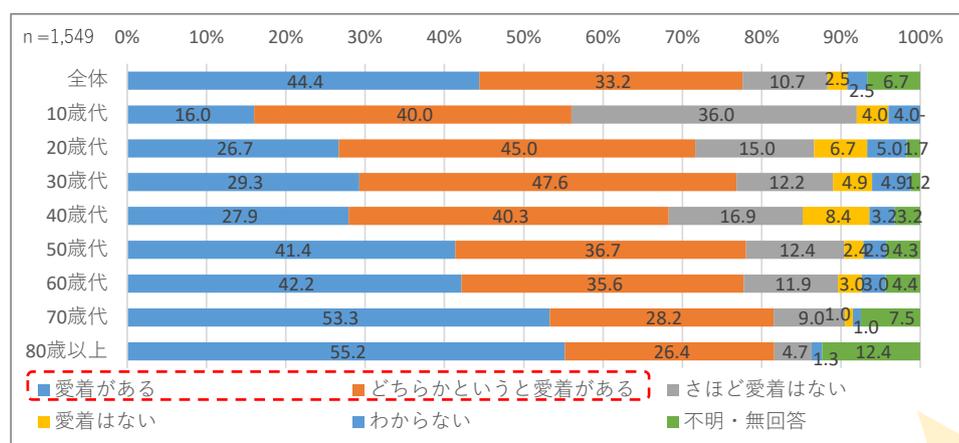


### 3 調査結果概要

問1 あなたは、館山市に「自分たちのまち」としての愛着を感じていますか（○は1つ）。

全体では、「愛着がある」「どちらかというとな愛着がある」を合わせた『愛着がある』と答えた人が77.6%となっています。

年代別では、50歳代以降では「愛着がある」が最も多くなっていますが、10歳代から40歳代の若い世代では「どちらかというとな愛着がある」が最も多くなっています。また、『愛着がある』が10歳代で56.0%と、他の年代に比べ低くなっています。



年代が上がるにつれて、『愛着がある』の割合が高い傾向にあります。

### 問3 あなたが考える、10年後の館山市のイメージに近いものはどれですか(3つまで選んで○)。

全体では、「医療・福祉・介護が充実し、自分らしく暮らせるまち」が48.4%と最も多く、次いで「自然と気候に恵まれた、居住環境に優れたまち」が33.3%、「豊かな自然と人々が調和した、持続可能なまち」が28.7%となっています。

年代別では、10歳代で「すべての人が元気ですこやかに暮らすまち」、20歳代で「自然と気候に恵まれた、居住環境に優れたまち」がそれぞれ最も多くなっています。

また、20歳代から40歳代で「地域ぐるみで安心して子育てができるまち」が他の年代に比べ高くなっているほか、「生活基盤や防災体制が整い、安心して暮らせるまち」が、年代が上がるにつれて高くなっています。

	合計	すべての人が元気ですこやかに暮らすまち	豊かな自然と人々が調和した、持続可能なまち	地域ぐるみで安心して子育てができるまち	助け合い・支え合いで、みんなで共生できるまち	医療・福祉・介護が充実し、自分らしく暮らせるまち	教育・文化活動やスポーツ活動が盛んなまち	地域に根差した歴史や文化が生きるまち	自然と気候に恵まれた、居住環境に優れたまち
全体	1549	25.9	28.7	13.3	16.6	48.4	6.6	7.4	33.3
10歳代	25	40.0	20.0	12.0	20.0	24.0	12.0	24.0	28.0
20歳代	60	18.3	36.7	33.3	6.7	31.7	10.0	15.0	40.0
30歳代	82	12.2	34.1	24.4	11.0	36.6	8.5	8.5	31.7
40歳代	154	16.9	34.4	22.1	10.4	36.4	5.2	7.8	29.9
50歳代	210	17.6	28.6	13.8	13.8	43.8	5.2	8.1	32.4
60歳代	270	26.7	29.3	11.9	15.9	43.7	6.7	8.9	36.3
70歳代	411	30.9	29.2	8.3	17.3	56.2	6.6	6.8	32.8
80歳以上	299	32.8	23.4	9.4	23.7	59.9	5.7	3.3	34.4
	合計	活力ある産業と豊かな暮らしを感じられるまち	海辺に人がにぎわう、人や情報の交流が活発なまち	みんなで支え合う、災害に強いまち	生活基盤や防災体制が整い、安心して暮らせるまち	住環境や生活基盤の整う、利便性の高いまち	その他	不明・無回答	
全体	1549	15.0	9.9	11.0	28.1	14.7	3.7	2.9	
10歳代	25	4.0	24.0	12.0	8.0	12.0	-	4.0	
20歳代	60	6.7	20.0	16.7	15.0	15.0	-	1.7	
30歳代	82	9.8	17.1	12.2	18.3	17.1	3.7	2.4	
40歳代	154	12.3	14.3	4.5	19.5	10.4	9.7	2.6	
50歳代	210	16.2	13.3	8.6	22.4	18.1	5.2	2.9	
60歳代	270	15.2	7.8	11.5	29.6	13.0	4.1	1.1	
70歳代	411	15.1	8.3	10.9	31.9	14.8	2.4	3.9	
80歳以上	299	20.4	4.3	13.7	35.5	13.7	2.3	2.7	

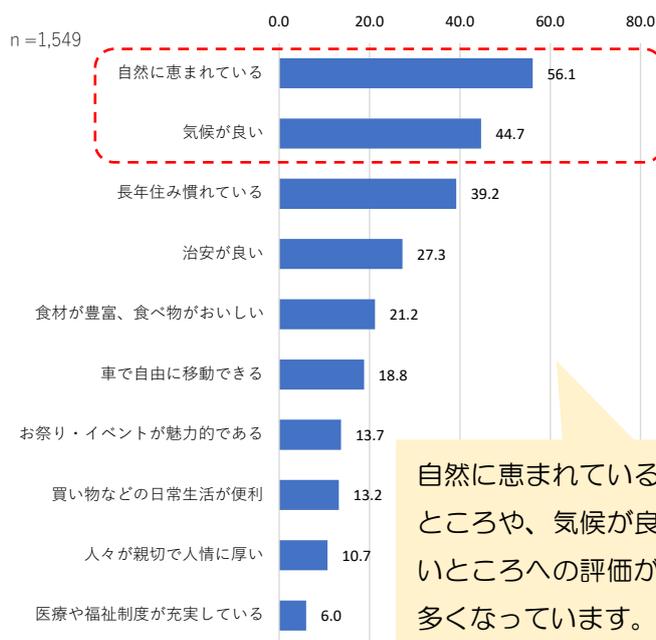
年代によって、将来の館山市のイメージに差が見られます。

問4 あなたにとって、館山市が「住みやすい」と思う点、「住みにくい」と思う点は何ですか（それぞれ3つまで選んで〇）

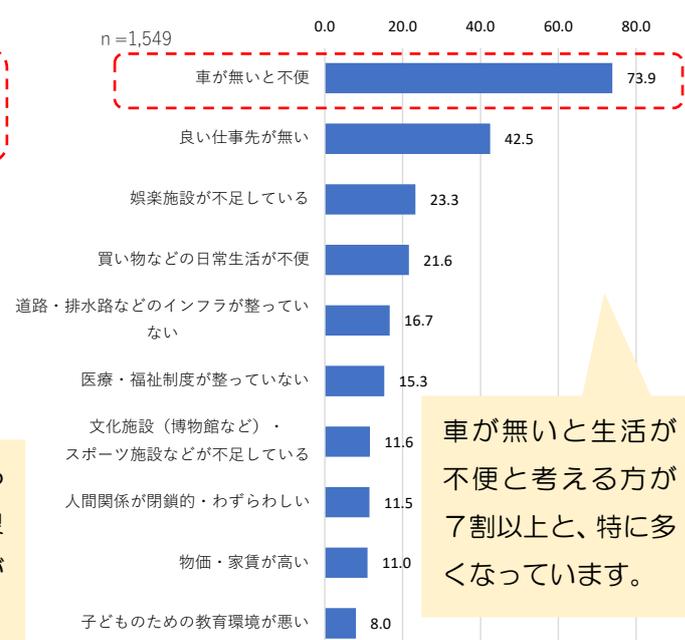
住みやすいと思う点は、「自然に恵まれている」が最も多く、次いで「気候が良い」、「長年住み慣れている」となっています。

住みにくいと思う点は、「車が無いと不便」が最も多く、次いで「いい仕事先が無い」、「娯楽施設が不足している」となっています。

【住みやすいと思う点 ※上位10項目】



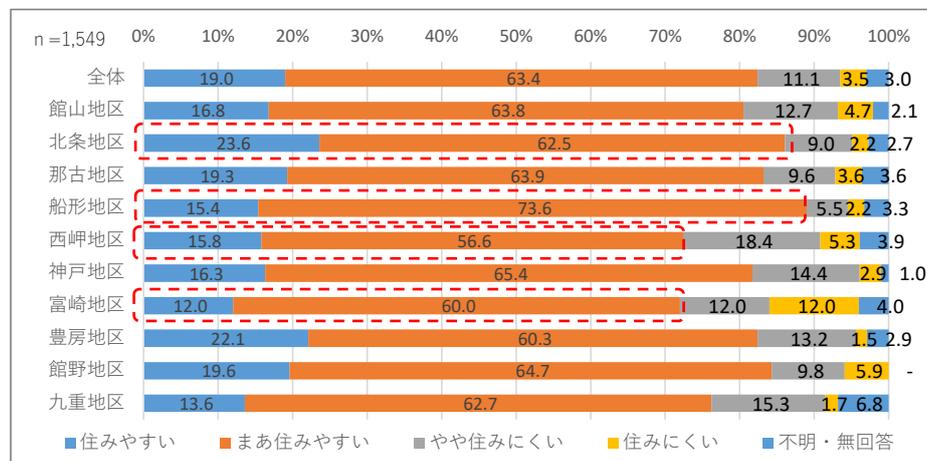
【住みにくいと思う点 ※上位10項目】



問5 あなたは、館山市の住みやすさについて、どう感じていますか（〇は1つ）

全体では、「住みやすい」と「まあ住みやすい」を合わせた『住みやすい』が82.4%となっています。

地区別では、「北条地区」や「船形地区」では『住みやすい』が8割台後半と高くなっていますが、「西岬地区」や「富崎地区」では7割台前半と、他に比べ低くなっています。



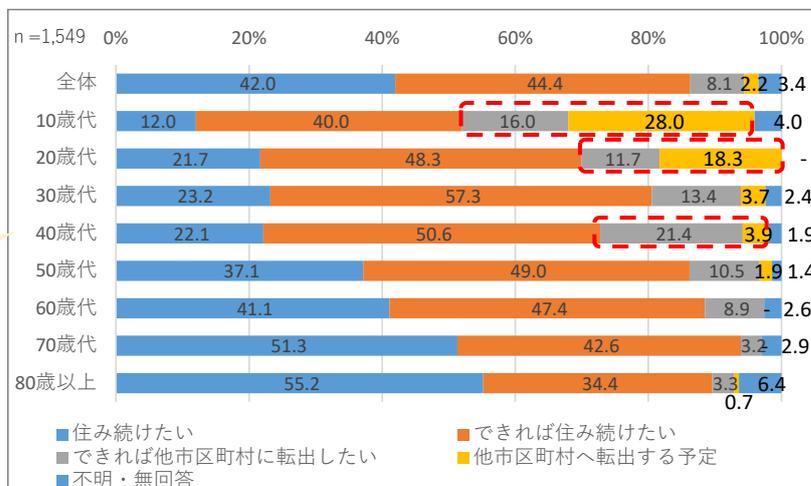
住みやすさについては、地区によって差が見られます。

### 問6 あなたは、これからも館山市に住み続けたいと思いますか（〇は1つ）。

全体では、「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合わせた『住み続けたい』が86.4%となっています。

年代別では、年代が上がるにつれて『住み続けたい』が多くなっています。また、10歳代から20歳代で「他市地区町村へ転出する予定」が多くなっています。

10、20、40歳代の比較的若い年代で、転出の意向が多くなっています。



### 問6-1 転出を考えている主な理由（自由回答）

※問6で「できれば他市区町村へ転出したい」「他市区町村へ転出する予定」と回答した方。

福祉・健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療、福祉、子育ての環境が良くない</li> <li>・小児科が少なすぎる</li> <li>・医療機関も選択の余地がなく、非常に生活しづらい</li> </ul>
交通・移動手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物が不便</li> <li>・交通、電車が不便</li> <li>・車の運転が出来ないとどこへも行けない</li> <li>・夜間タクシーがないので緊急時病院にたどりつけない</li> </ul>
仕事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤め先がない</li> <li>・給与の水準が低すぎる</li> </ul>
教育・進学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学がない</li> <li>・高校など限られた所しかなく子どもの将来が不安</li> <li>・進学のため</li> </ul>
地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣トラブル</li> <li>・人間関係が独特</li> <li>・地域の祭りや行事の強制参加を強いる</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家賃が高い</li> <li>・実家があるため</li> <li>・結婚し、転居するため</li> </ul>

問7 これまで進めてきた、まちづくりの「満足度」と、これからまちづくりを進めていく上での「重要度」についてお答えください（満足度・重要度それぞれ0は1つ）。

施策分野毎に「満足度」と「重要度」のそれぞれの平均点（※）を算出した結果は次のとおりです。

満足度	選択肢	点数	重要度	選択肢	点数
満足	1	5	重要である	1	5
やや満足	2	4	やや重要	2	4
どちらともいえない	3	3	どちらともいえない	3	3
やや不満	4	2	あまり重要でない	4	2
不満	5	1	重要でない	5	1

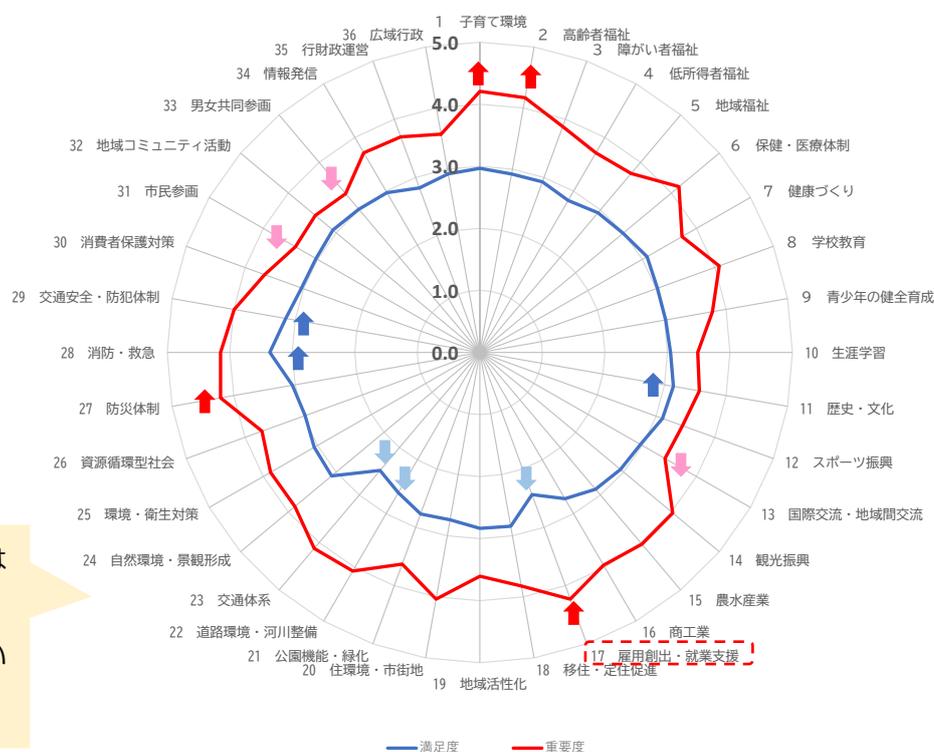
※平均点は、選択肢 1～5=5点～1点とし、選択肢×各人数の合計点を点数回答者（1点～5点の総人数）で除した値。

「満足度」が最も高い施策は「28 消防・救急（3.36）」、次いで「29 交通安全・防犯体制（3.15）」、「11 歴史・文化（3.14）」となっています。

最も低い施策は「17 雇用創出・就業支援（2.44）」、次いで「23 交通体系（2.48）」、「22 道路環境・河川整備（2.61）」となっています。

「重要度」が最も高い施策は「17 雇用創出・就業支援（4.23）」、次いで「1 子育て環境（4.21）」、「27 防災体制（4.21）」となっています。

最も低い施策は「33 男女共同参画（3.34）」、次いで「31 市民参画（3.41）」、「13 国際交流・地域間交流（3.42）」となっています。



## 問8① 現在、あなたはどの程度幸せですか。

幸福度については、「5点」が22.1%と最も多く、次いで「7点」「8点」が18.9%、「6点」が11.4%となっています。

年代別では、10歳代から40歳代と60歳代で「7点」（30歳代は「8点」も同率）が最も多くなっています。

	合計	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	不明・無回答
全体	1549	0.8	1.3	2.1	5.5	5.2	22.1	11.4	18.9	18.9	5.7	5.0	3.0
10歳代	25	-	-	-	4.0	4.0	24.0	20.0	28.0	8.0	4.0	4.0	4.0
20歳代	60	-	-	1.7	8.3	3.3	18.3	11.7	30.0	21.7	-	3.3	1.7
30歳代	82	1.2	1.2	4.9	6.1	7.3	12.2	19.5	20.7	20.7	1.2	4.9	-
40歳代	154	2.6	3.2	1.9	6.5	4.5	19.5	14.9	20.1	17.5	3.9	4.5	0.6
50歳代	210	1.0	2.9	3.3	11.4	5.2	21.4	12.9	14.3	18.6	2.9	4.8	1.4
60歳代	270	0.7	0.7	3.0	5.2	7.4	20.0	10.0	20.7	15.9	8.1	5.9	2.2
70歳代	411	0.7	1.0	1.2	3.6	4.9	26.3	8.5	18.5	20.4	6.3	5.6	2.9
80歳以上	299	0.3	0.7	0.3	2.3	4.3	24.4	11.4	16.1	20.4	8.4	5.0	6.4

比較的若い年代で「7点」「8点」の回答が多い傾向にあります。

## 問9 これから10年後の将来、あなたの日常生活において、次に示した交通手段がどの程度必要になると思いますか（それぞれ0は1つ）

全体では、「とても必要」と「どちらかといえば必要」を合わせた『必要』について、「③自家用車」が80.3%と最も高く、次いで「①徒歩」が78.6%、「⑤路線バス」が75.0%となっています。

n=1,549	必要		必要ない		わからない	無回答
	とても必要	どちらかといえば必要	どちらかといえば必要ない	必要ない		
①徒歩	45.0	33.6	6.1	1.6	6.2	7.6
②自転車	19.9	34.6	16.0	15.3	6.6	7.5
③自家用車	65.6	14.7	2.7	6.9	4.1	5.9
④鉄道	21.2	35.9	18.5	9.1	7.2	8.0
⑤路線バス	40.4	34.6	10.6	4.1	5.0	5.4
⑥市街地循環バス「かいまーる」	34.5	33.2	11.2	5.4	8.8	6.8
⑦タクシー	28.9	40.7	13.4	4.3	7.0	5.9
⑧デマンド型乗合タクシー（チョイソコ南房総・館山など）	29.1	34.2	13.6	4.8	12.5	5.9

地区別にみた、『必要』だと思える交通手段については、「③自家用車」はどの地区も7割以上と高くなっていますが、「西岬地区」「神戸地区」「豊房地区」で特に高くなっています。

「⑤路線バス」については、「神戸地区」「富崎地区」「九重地区」で8割台後半と特に高くなっています。

「⑥市街地循環バス」については、「船形地区」「九重地区」で特に高くなっています。

「⑧デマンド型乗合タクシー」については、「九重地区」で特に高くなっています。

#### ※将来必要と考える交通手段（地区別・抜粋）

##### ③自家用車

	合計	とても必要	どちらかといえば必要	『必要』計
全体	1549	65.6	14.7	80.3
館山地区	387	64.6	13.7	78.3
北条地区	411	65.2	15.6	80.8
那古地区	166	71.1	12.0	83.1
船形地区	91	64.8	17.6	82.4
西岬地区	76	77.6	9.2	86.8
神戸地区	104	71.2	15.4	86.6
富崎地区	25	64.0	12.0	76.0
豊房地区	68	67.6	19.1	86.7
館野地区	102	62.7	12.7	75.4
九重地区	59	62.7	20.3	83.0

##### ⑤路線バス

	合計	とても必要	どちらかといえば必要	『必要』計
全体	1549	40.4	34.6	75.0
館山地区	387	39.8	36.7	76.5
北条地区	411	35.8	36.5	72.3
那古地区	166	38.0	37.3	75.3
船形地区	91	53.8	28.6	82.4
西岬地区	76	47.4	35.5	82.9
神戸地区	104	51.9	34.6	86.5
富崎地区	25	48.0	40.0	88.0
豊房地区	68	32.4	27.9	60.3
館野地区	102	38.2	30.4	68.6
九重地区	59	49.2	37.3	86.5

##### ⑥市街地循環バス

ど

	合計	とても必要	どちらかといえば必要	『必要』計
全体	1549	34.5	33.2	67.7
館山地区	387	38.2	29.2	67.4
北条地区	411	31.1	33.6	64.7
那古地区	166	35.5	36.7	72.2
船形地区	91	38.5	38.5	77.0
西岬地区	76	32.9	32.9	65.8
神戸地区	104	35.6	33.7	69.3
富崎地区	25	28.0	44.0	72.0
豊房地区	68	33.8	32.4	66.2
館野地区	102	34.3	25.5	59.8
九重地区	59	37.3	47.5	84.8

##### ⑧デマンド型乗合タクシー（チョイソコ南房総・館山な

	合計	とても必要	どちらかといえば必要	『必要』計
全体	1549	29.1	34.2	63.3
館山地区	387	31.5	30.7	62.2
北条地区	411	26.5	35.8	62.3
那古地区	166	27.7	36.1	63.8
船形地区	91	31.9	36.3	68.2
西岬地区	76	28.9	35.5	64.4
神戸地区	104	32.7	34.6	67.3
富崎地区	25	28.0	44.0	72.0
豊房地区	68	35.3	33.8	69.1
館野地区	102	25.5	28.4	53.9
九重地区	59	30.5	47.5	78.0

移手段へのニーズについては、市街地から離れた地域や、山間部等の地域で高い傾向にあります。

問 11 あなたは、若い世代が館山市に移住・定住するためには、何が重要だと思いますか(3つまで選んで○)

全体では、「企業誘致等による就業機会・職業分野の拡大」が 56.2%と最も多く、次いで「子育て支援や学校教育環境の充実」が 31.6%、「幹線道路や公共交通の整備による都市部へのアクセス向上」が 27.0%となっています。

年代別では、10 歳代で「幹線道路や公共交通の整備による都市部へのアクセス向上」、30 歳代で「子育て支援や学校教育環境の充実」が最も多くなっています。

	合計	農林水産業における後継者の育成支援	企業誘致等による就業機会・職業分野の拡大	意欲のある若者に対する起業・創業支援	子育て支援や学校教育環境の充実	学力やコミュニケーション能力を向上させる学習機会の充実	大学のサテライトキャンパスや附属高校等の誘致	医療機関の充実	幹線道路や公共交通の整備による都市部へのアクセス向上	商工業やレクリエーション施設の充実
全体	1549	20.7	56.2	25.6	31.6	5.0	10.5	25.2	27.0	11.7
10歳代	25	8.0	28.0	16.0	24.0	12.0	16.0	36.0	44.0	28.0
20歳代	60	15.0	48.3	13.3	46.7	5.0	16.7	20.0	40.0	16.7
30歳代	82	23.2	40.2	22.0	53.7	6.1	7.3	23.2	24.4	20.7
40歳代	154	16.9	55.8	17.5	44.8	9.1	13.0	26.0	27.9	14.3
50歳代	210	14.8	56.2	16.7	35.7	4.8	8.6	26.7	30.0	17.1
60歳代	270	15.6	63.7	26.3	35.6	3.0	10.0	24.8	28.5	11.1
70歳代	411	26.3	57.7	29.7	23.6	3.4	9.5	26.5	25.5	7.8
80歳以上	299	25.8	56.5	32.8	22.7	6.4	11.7	23.1	22.7	8.0
	合計	恵まれた自然環境等の都市部へのプロモーション	シビックプライド(まちに対する誇りや愛着)の醸成	購入・賃貸しやすい住宅や住宅地の整備	婚活支援の実施	安全・安心なまちづくりの充実	その他	わからない	不明・無回答	
全体	1549	5.0	2.1	21.6	9.5	15.7	1.5	3.9	2.6	
10歳代	25	-	-	20.0	12.0	20.0	8.0	4.0	-	
20歳代	60	3.3	1.7	38.3	10.0	11.7	-	-	-	
30歳代	82	3.7	-	25.6	11.0	15.9	2.4	1.2	-	
40歳代	154	3.2	3.2	24.0	6.5	9.1	3.2	1.9	0.6	
50歳代	210	8.1	2.9	27.6	8.6	13.8	2.4	2.9	0.5	
60歳代	270	4.8	2.2	20.0	7.0	15.9	1.5	4.4	1.9	
70歳代	411	5.6	1.0	18.2	9.7	18.2	0.7	5.8	2.9	
80歳以上	299	5.0	3.0	17.7	10.4	15.7	0.7	4.3	6.0	

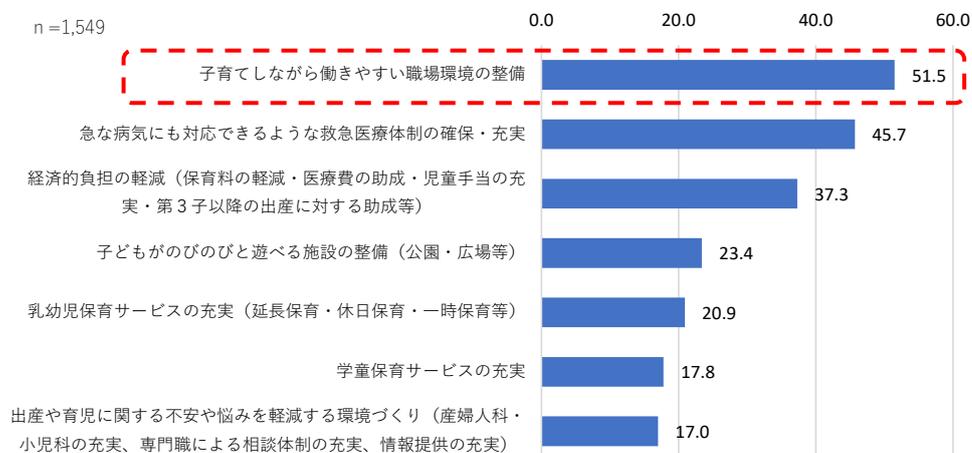
企業誘致・就業機会の拡大についてのニーズは、40歳代以降で特に高くなっています。10、20歳代では、都心へのアクセス向上へのニーズが約4割と高くなっています。

問 12 あなたは、出産・子育て支援に関して、今後どのような施策が重要だと思いますか(3つまで選んで○)

全体では、「子育てしながら働きやすい職場環境の整備」が最も多く、次いで「急な病気にも対応できるような救急医療体制の確保・充実」、「経済的負担の軽減(保育料の軽減・医療費の助成・児童手当の充実・第3子以降の出産に対する助成等)」となっています。

※上位7項目

子育てと仕事の両立に向けた施策へのニーズが高くなっています。

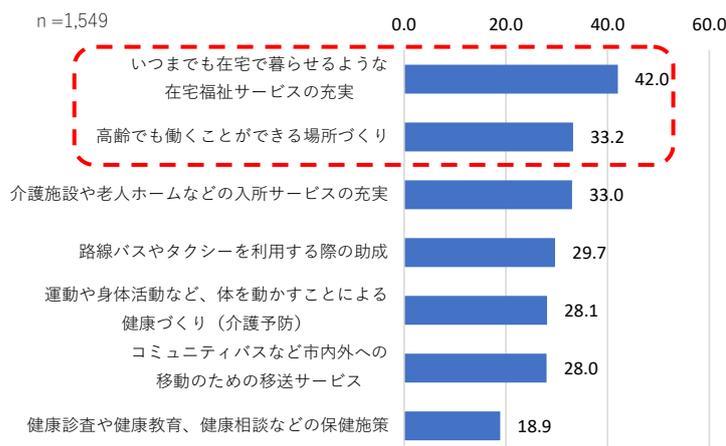


問 14 あなたは、高齢者に対する施策として、どのような内容が重要だと思いますか(3つまで選んで○)

全体では、「いつまでも在宅で暮らせるような在宅福祉サービスの充実」が最も多く、次いで「高齢でも働くことができる場所づくり」、「介護施設や老人ホームなどの入所サービスの充実」となっています。

※上位7項目

住み慣れた地域で暮らし続けられる社会や、高齢者の社会参加、生きがいきりへの支援が求められています。

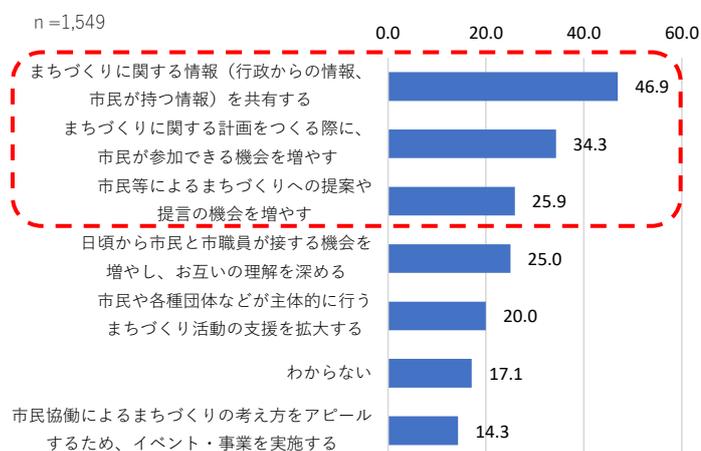


問 15 あなたは、今後、市民等との協働のまちづくりを推進する上で、どのようなことが重要だと思いますか(3つまで選んで○)

全体では、「まちづくりに関する情報(行政からの情報、市民が持つ情報)を共有する」が最も多く、次いで「まちづくりに関する計画をつくる際に、市民が参加できる機会を増やす」、「市民等によるまちづくりへの提案や提言の機会を増やす」となっています。

※上位7項目

まちづくりに関する情報の発信・共有や、市民参画の機会が求められています。



問 18 あなたは、災害に強いまちづくりのため、どのような施策が重要だと思いますか（3つまで選んで○）

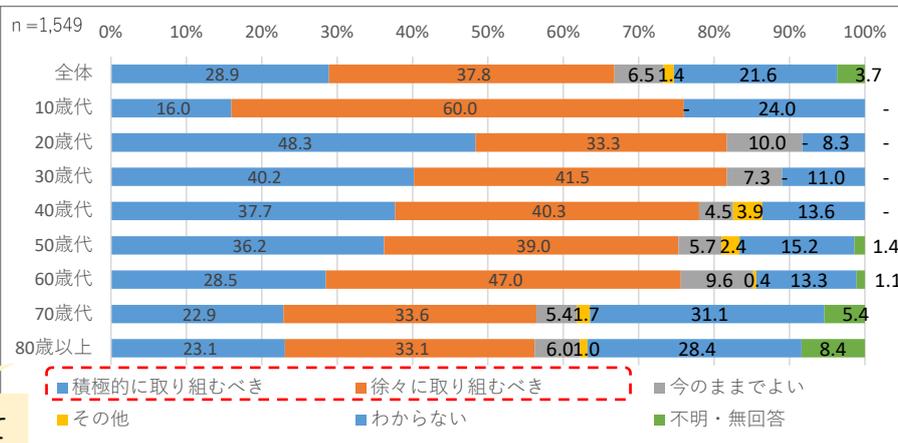
全体では、「備蓄品（食料・飲料水・生活必需品等）の種類及び保有量の拡充」が最も多く、次いで「情報収集・情報伝達体制の確保」、「避難施設の確保及び避難設備の充実」となっています。



問 22 今後、自治体における各種デジタル技術の導入など、行政サービスのデジタル化を推進するための取組について、どのようにお考えですか（○は1つ）

全体では、「積極的に取り組むべき」と「徐々に取り組むべき」を合わせた『取り組むべき』が66.7%となっています。

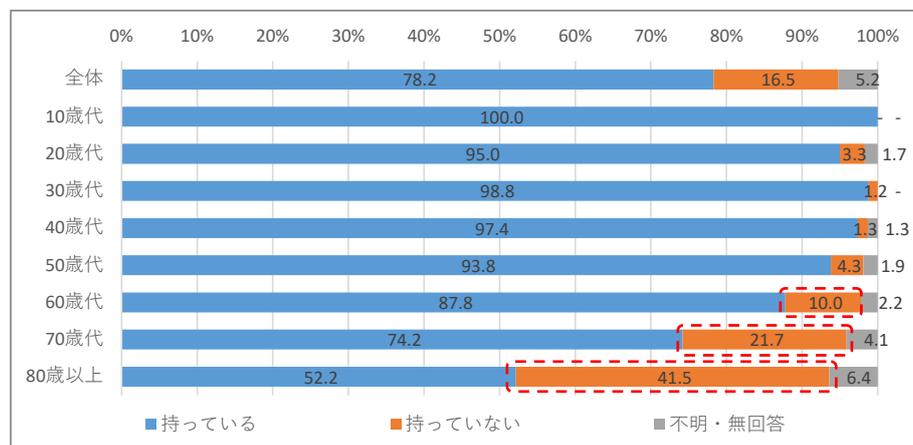
年代別では、20歳代から40歳代で約8割が『取り組むべき』となっています。



20~40歳代を中心に、すべての世代で『取り組むべき』という意見が多くなっています。

問 23 あなたは、スマートフォンやタブレットを持っていますか（○は1つ）

全体では、「持っている」が78.2%となっています。年代別では、年代が上がるにつれて「持っていない」の割合が高く、60歳代で10.0%、70歳代で21.7%、80歳以上で41.5%となっています。



スマートフォンやタブレット等のデジタル端末を持っていない方が、60歳以上で一定数見られます。